

社団法人 日本天文学会 通常総会報告

2000年（平成12年）10月6日（金） 16：00～17：30

於：群馬県総合教育センター 講堂

議長：尾崎洋二

議事に先立ち出席者数の確認がなされた。事前投票総数は276、総会出席者は167である。出席者のうちで事前投票をした18人は、事前投票の方を無効とした。従って有効出席者総数は425で、定足数（正会員総数1399人の5分の1=280）を満たすことを確認した。次に署名人として坪井昌人氏、加藤太一氏が選出された。続いて五島プラネタリウム天文博物館への感謝状贈呈、1999年度研究奨励賞の授与式が行われた。

● 研究奨励賞：

受賞者：高橋順子 国立天文台天文学データ解析計算センター研究員

研究テーマ：星間分子と星間塵表面反応についての理論的研究

議事の経過および結果

1. 2001-2002年度天文学会理事・監事候補の説明を大石庶務理事が行った（第1号議案）。質疑応答の後賛否を問い、賛成多数で承認された。
2. 2001-2002年度選挙管理委員候補の説明を大石庶務理事が行った（第2号議案）。質疑応答の後賛否を問い、賛成多数で承認された。
3. 2001年度天文学会事業計画案の説明を大石庶務理事が行なった（第3号議案）。質疑応答の後賛否を問い、賛成多数で承認された。
4. 2001年度天文学会収支予算案の説明を立松会計理事が行った（第4号議案）。質疑応答の後賛否を問い、賛成多数で承認された。
5. その他
 - (1) 細則の条文番号がアラビア数字になっているものを「第n条」という表記に変更する提案が大石庶務理事によって行なわれ、意見交換の後賛否を問い、承認された。
 - (2) 天文学会員の支持によりASTRO-Eの再打ち上げに向けて動き出したことに関して、宇宙科学研究所の井上一氏から感謝の意の表明があった。
 - (3) PASJの出版社、販売委託会社に変更になることについて有本理事が説明を行なった。
 - (4) 立松会計理事から、学会会費未納者の割合が会員全体の約20%であり未納会費は1000万円弱にのぼること、このために学会の運営資金が枯渇したことが報告された。また同理事から、督促手数料を徴収することを検討しているとの報告があった。

[天文学会ホームページに戻る](#)